

1学期学校評価のまとめ と 2学期の取組

平成28年11月28日

妙高市立新井南小学校

皆様からお寄せいただいたアンケートと児童アンケート及び1学期に見られた児童の姿を基に、中間評価を行いました。また、10月に4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果が出ました。

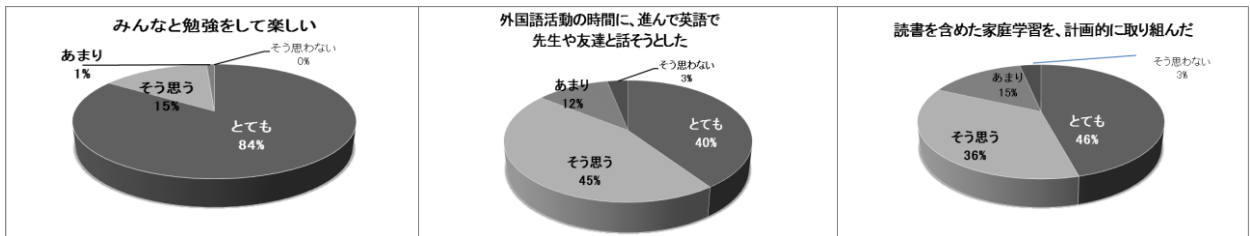
主なアンケート結果と2学期の取組等についてまとめました。遅くなりましたが、ご覧になってお気づきの点やご意見等がありましたら、遠慮なく学校までお知らせください。

1. 「自ら課題に取り組み、主体的に解決する子」を育てるための主な取組

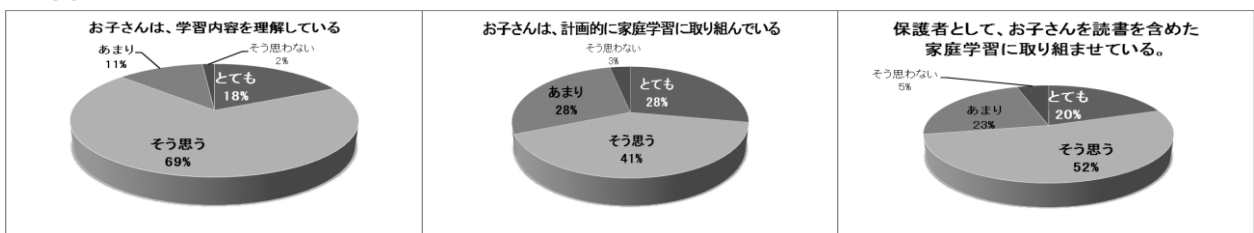
- ① 会話や話し合い活動を充実させるための授業改善
- ② 家庭学習の習慣化への働きかけ（家庭学習ノートの活用）
- ③ 全校体制で取り組む習熟の場の設定



児童アンケート（前年度と比較できる5項目中5項目で肯定的評価が上がりました。）



保護者アンケート（「計画的な家庭学習の取組」に対する評価は児童より保護者の方が厳しく、13%の差があります。）



2 学期からの主な取組

① ALT との相談時間を確保し、外国語活動の環境整備と効果的な運用を図る。

「Eye contact・Clear voice・Smile」のポイントを共有し、打合せを充実させることで授業改善を図る。

② 家庭学習をしない子の固定化、ドリル学習に偏った内容を、自学ノートの交流を通して改善する。

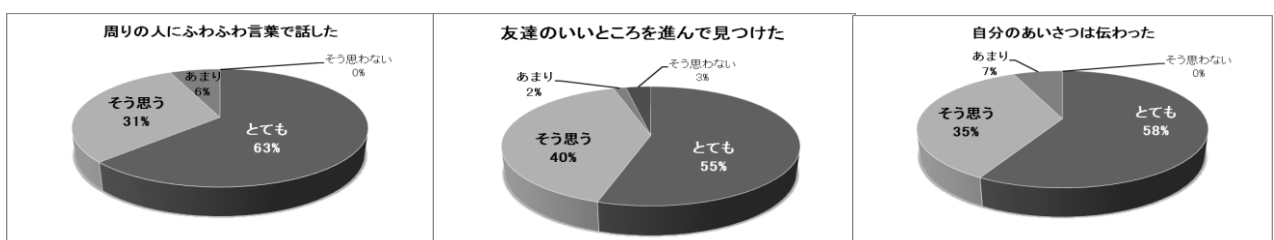
自主学習の様子を児童同士で見合ったり保護者に知らせたりする。基礎・基本と発展的家庭学習内容例を具体的に示す。

2. 「自ら思いやりのある行動をする子」を育てるための主な取組

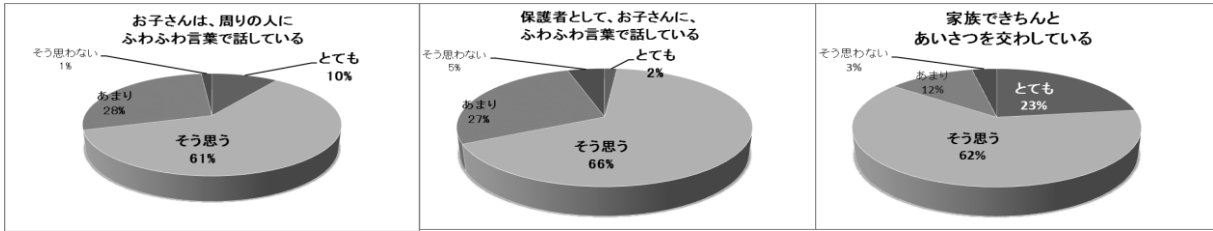
- ① 児童主体の「ふわふわ言葉を伝えよう」活動の活性化
- ② 「心のカルテ」をもとにした自己チェックと教育相談の実施
- ③ 年間を通した「伝わるあいさつ」運動の推進



児童アンケート（前年度と比較できる4目中3目で肯定的評価が上がりました。）



■ **保護者アンケート**（「お子さんにふわふわ言葉で話している」項目が高くなった反面、「家族で挨拶を交わす」項目が低くなりました。）



■ **2 学期の主な取組**

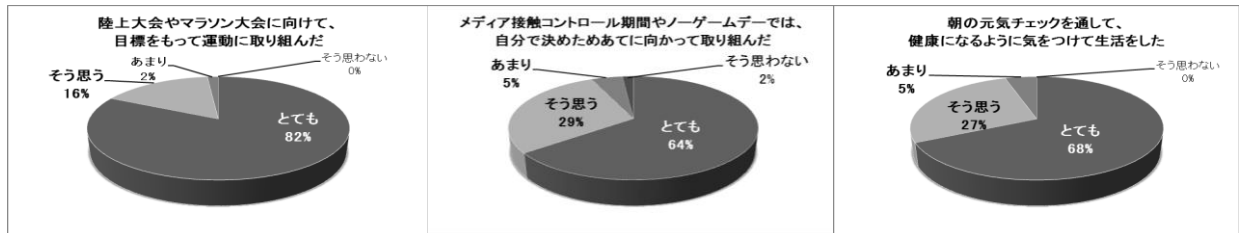
- ① **全校一斉で保護者参加型の道徳授業を実施。「家族でふわふわデー」の取組に広げていく。**
ふわふわ言葉や挨拶、いじめに対する評価は児童と保護者でギャップが大きい。取組や状況を発信して共有していく。
- ② **「ふわふわ集会」や児童からのアフローチを大切に集会活動を実施する。**
スローガンを話し合ったり行事等で示したりして、意識を強くもって生活できるようにする。また、成果を共有する。

3. 「自ら生活習慣を見直し、体力を高める子」を育てるための主な取組

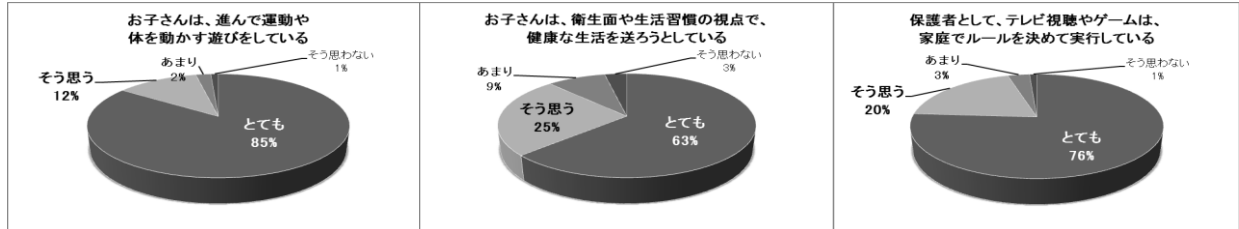
- ① 体力トレーニングタイムの実施と運動意欲の喚起を図る授業改善
- ② ノーゲームデーと中学校区メディア接触コントロール強調週間の実施
- ③ 朝の元気チェックの実施



■ **児童アンケート**（前年度と比較できる4項目中2項目で肯定的評価が上がりました。）



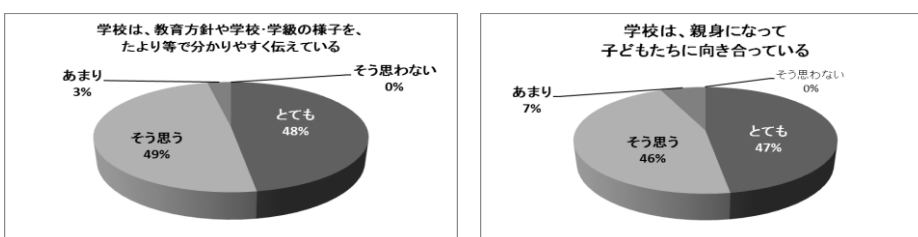
■ **保護者アンケート**（ご家庭の協力で、メディアの約束がよくなってきています。起きる時間・寝る時間が課題。）



■ **2 学期の主な取組**

- ① **児童が主体的に運動をするような取組を取り入れた授業改善を推進する。**
記録や努力の視覚化で意欲を喚起する。課題「投力の向上」を目指して、運動環境を整え授業改善を図る。
- ② **徳育「2」の取組と連動したメディア接触コントロール強調期間と個別指導の実施で改善を図る。**
毎週の朝元気チェックとノーゲームデーで児童の意識を継続させる。達成できない固定化した児童は、個別指導と家庭との連携が鍵となる。

4. **学校運営に関する保護者アンケート**（2項目とも、90%を越える高い評価をいただきました。）



全国学力・学習状況調査の結果

文部科学省では、全国の子どもの学力状況を把握するために、平成19年度から「全国学力・学習状況調査」を実施しています。(小学校では6年生が対象) 今年4月19日(火)に実施した「平成28年度 全国学力・学習状況調査」の結果が届きましたので、お知らせします。

1 調査内容: 教科に関する調査(国語、算数)と生活習慣や学習環境等に関する調査(児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査) 出題範囲: 全学年(5年生)までの学習内容

2 出題内容: 「知識」と「活用」の2種類の問題を出題

・〔主として「知識」〕…国語A、算数A

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等を中心とした出題

・〔主として「活用」〕…国語B、算数B

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等にかかわる内容を中心とした出題

3 結果

	国語A 15問	国語B 10問	算数A 16問	算数B 13問
新井南小平均	県平均を上回る	県平均と同じ	県平均を上回る	県平均をやや下回る
新潟県 平均	11.4	6.0	12.7	6.2
全国 平均	10.9	5.8	12.4	6.1

成果があった教科・問題等の調査結果	成果につながった実践
<p>教科: 国語 番号: 出題の趣旨</p> <p>① 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む (国語A、正答率100%)</p> <p>② 目的に応じて図と表を関連付けて読む (国語A、正答率100%)</p> <p>③ 目的に応じ、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む (国語B、正答率80%)</p>	<p>教科: 国語</p> <p>① 全校で基礎学力定着に向けて取り組んできたことが成果につながった。 (全校国語テストの実施)</p> <p>② ③ 説明文等の読み取りでは、「事実」、「具体例」、「筆者の主張」の違いを捉えさせた。</p>
<p>教科: 算数 番号: 出題の趣旨</p> <p>① 単位量当たりの大きさ(平均、混み具合、人口密度)の求め方を理解している (算数A、正答率100%)</p> <p>② 図形の構成要素に着目して、図形を構成することができる (算数A、正答率100%)</p>	<p>教科: 算数</p> <p>① ③わり算の文章題や割合の学習では、学習課題の中で、もとにする量にアンダーラインを引き、学級で確認をしてきた。</p> <p>② 図形を分割し、組み合わせて敷き詰めたり、同じ形の2つの三角形を組み合わせたりの活動に、繰り返し取り組んできた。</p>

<p>③ 示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことができる (算数A、正答率100%)</p>	
---	--

課題の見られた教科・問題等の調査結果	結果を受けた今後の対策
<p>教科：国語 番号：出題の趣旨</p> <p>① 登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉える (国語A、正答率64.4%)</p> <p>② グラフを基に、分かったことを的確に書く (国語B、正答率30%)</p>	<p>教科：国語</p> <p>① 登場人物について、提示された物語文の出来事や心情に着目せず、自分の思いや想像を膨らませて勝手に読んでいる。論理的思考力を育むため、提示された文章を根拠にして読む力を育てていく。</p> <p>② 図や表などを関連付けて読むことはできるが、読んで分かったことを端的にまとめて書く力が不足している。これまで取り組んできた新聞記事の視写から一歩推し進め、要約に取り組んでいく。</p>
<p>教科：算数 番号：出題の趣旨</p> <p>① 小数のわり算の計算ができる (算数A、正答率70%)</p> <p>② 示されている説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述できる (算数B、正答率20%)</p> <p>③ わり算の式と関連付け、式の意味の説明を記述できる (算数B、正答率0%)</p>	<p>教科：算数</p> <p>① 四則計算でのケアレスミスが目立つ。筆算等の基礎的な項目を全員で確認する。</p> <p>② 課題を特定の文脈で学習させた後、「もし～だったらどうなるか」、「もし、この問題のこの部分が違っていたらどうなるか」と考えさせることによって、活用力を育てていく。</p> <p>③ 立式はできても、それぞれの数は何を示しているのか、端的に説明する力が不足している。毎日の授業で、立式したそれぞれの数は何を示しているのか場面を捉え、確認していく。</p>

自主学習のメニュー【スタンダード・アドバンスコース】の具体例として、これに取り組むとこんな成果が出るというイメージをもったり、子どもに声をかけるときの参考にしたりしていただければ嬉しいです。

